

陸上競技場リニューアル

第3種公認 鷹巣陸上競技場

第3種公認継続に伴い改修工事を行った鷹巣陸上競技場で、9月1日、県北高校新人陸上競技大会が行われ、出場した選手はリニューアルされた競技場で健脚を競い合いました。同競技場の改修工事の総事業費は7655万円で合併特例債7090万円を活用。主な改修工事は、全天候型舗装材（スパーX）の張り替えを中心に観覧席の鉄骨補修や塗装などを行い、5月には、日本陸上競技連盟施設用器具検定員による陸上競技場第3種公認検定を受けました。

現在は、6月1日から一般の利用が開始され、朝夕ジョギングをする市民に利用され大変好評となっています。



リニューアルされた鷹巣陸上競技場

強い忍耐力と成就・充実感の体得

米内沢高校 く森吉山清掃登山

米内沢高校の第42回全校森吉山清掃登山が9月1日に行われ、生徒・職員・保護者ら約200人が参加し、晴天の中、山頂までの様田コース往復11・6kmの清掃登山に汗を流しました。

この清掃登山は、森吉山の雄大な自然の中でたくましく豊かな精神を養うとともに、自然環境の保全に務めるのが目的で行われ、生徒らは、こめつが山荘にて開会式を行った後、頂上までの清掃活動を行いました。

生徒達は登山を通じて「生徒間の親睦と信頼感」「強い忍耐力と成就・充実感の体得」「自然を守る態度とその保全と美化に努める」という目的を達成することができたようです。



森吉山の美化に務める米高生

いつまでもお元気で

北秋田市敬老式

北秋田市の敬老式が、9月5日の合川会場を皮切りに旧町ごとに開催され、市全体の対象者（75歳以上）7201人のうち、合川地区の対象者は1433人、そのうち468人が出席しました。

式典では、岸部市長が「これからもはつらつと、さらに長寿の日々を送ってください」と祝辞を述べると、参加者を代表して佐藤勇助さん（木戸石）が「これからも、健康で明るく、地域の支えになつて長寿を全うしたい」とお礼の言葉を述べました。

式典後は、お祝いに合川民謡同好会の演芸、あいかわ保育園の「駒おどり・奴おどり」が披露され、参加者の皆さんは記念の一日を楽しみました。



岸部市長からダイヤモンド婚の表彰を受ける 工藤和彦・愛さん（上杉）ご夫妻



老人クラブの方から手ほどきを受けながらプレー

グラウンドゴルフで交流深める

北秋田市老人クラブ森吉支部

「地域児童とじじ・ばばとの交流会」が8月25日、北秋田市の阿仁川桜づつみ公園で行われ、参加した約60人はグラウンドゴルフなどで心地よい汗をなめました。

この事業は、児童と触れ合うことで顔なじみとなり、老人が培ってきた杵柄を生かし、地域住民の安全安心に少しでも役立てればという思いから実施されたものです。

森吉幹部交番の中西係長から自転車運転の注意の指導を受け、その後人形を使って実際に車に引かれたときにどうなるかを実演し、交通事故の恐ろしさを体験しました。

また、交流では老人クラブと児童が7班に分かれグラウンドゴルフを行い、おおいに楽しい1日となりました。

色あせたベンチが新品同様に

合川商店振興会ペンキ塗り替え奉仕

合川商店振興会（三浦文幸会長）の奉仕活動が9月3日、合川支所前で行われ、バス停や合川駅、児童公園などに設置されているベンチ10脚のペンキ塗り替えを行いました。

この活動は、合川駅前の環境整備と、住民が快適に過ごせるように行われたもので、今回で2回目。「駅前の環境整備をすることで、駅前商店街の活性化、地域振興につながれば」と三浦会長は話していました。

同振興会は花いっぱい運動など地域の活動へも参加しているほか、平成6年からは、地元商店の活性化、利用促進の一つとして、毎年好評の抽選会が行われる「のれそれセー」を開催しています。



10脚の色あせたベンチは新品同様になりました

熊の生態を学習

鷹巣中学校総合学習くるみデー

鷹巣中学校が総合学習の一環として行っている「くるみタイム」で、1年生31名が9月5日、阿仁支所を訪れ、地元の人たちから熊の生態やマタギの生活を学習しました。

熊の生態について市職員が講話。熊は親グマから山での生活を教わっている話し等を生徒たちは熱心に聞いた後「熊はなぜ人を襲うのか」「熊の身体で、どこが一番高く売れるのか」と鋭い質問が次々と出されました。

続いて、マタギについて石川建一氏（阿仁笑内）が講話を行い、マタギ言葉や、マタギの生活について話しました。また、万病薬とされている「熊の胆」の試飲もあり、実のある学習ができたようでした。



熊の胆について説明を受ける鷹中生